

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2023 年 7 月 28 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所

〒 063-8555
札幌市西区二十四軒四条1丁目
氏名 凸版印刷株式会社北海道事業部
(代表者名) 事業部長 我妻康

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 の規定により、環境保全行動 第 2 3 条第 3 項 自動車使用管理実施 報告書を提出します。

報告期間	2022 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 3 月 31 日								
事業の規模	従業員数	300	人	原油換算した	2357.4	kl			
	使用床面積	23890	m ²	燃料・熱・電気の合計量					
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	35	台			
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	5340	t-CO ₂	メタン	t-CO ₂	N ₂ O	t-CO ₂	HFC
非エネルギー起源CO ₂			t-CO ₂	PFC	t-CO ₂	SF ₆	t-CO ₂	NF ₃	t-CO ₂
報告書の担当部署	担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス								
計画書提出根拠	条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)				<input checked="" type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 3 項				
	条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)				<input type="checkbox"/> 第 1 項 <input checked="" type="checkbox"/> 第 2 項				
計画期間	2022 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日								
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり								
備考									

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 のある欄には、該当する 内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

【報告期間】

2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
電力の消費量抑制を中心とした省エネルギー	1.35	1	1.28	5	○						
	kW/千枚通	%	kW/千枚通	%							
生産系故紙を中心とした廃棄物の削減とリサイクル率の維持向上	12.42	1	11.91	4	○						
	%	%	%	%							
化学物質の適正管理 インキ削減率の維持	9.7	0	9.89	▲2	○						
	%	%	%	%							
インキドラム缶の適正管理	0		0	-	-						
	件	%	件	%							
		%		%							
		%		%							

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
電力の消費量抑制を中心とした省エネルギー	○	
生産系故紙を中心とした廃棄物の削減とリサイクル率の維持向上	○	
化学物質の適正管理 インキ削減率の維持	○	インキ削減率が向上しており目標達成(削減率増加:○)
インキドラム缶の適正管理	-	